

## NPO 京都コミュニティ放送 第 108 回 番組審議会 議事録

開催日時：2017 年 1 月 24 日（火）10：00～11：30

会 場：京都市中京区三条烏丸 烏丸ビル 2F Flag 三条

委員総数：7 人 出席：5 人 欠席：2 人

出席委員：山本時子 中村正 岡本卓也 竹下清 福井秀彦

欠席委員：ジェフ・バーグランド 松浦さと子

局側委員：町田寿二 松岡千鶴 (順不同敬称略)

ゲスト 被爆者証言の世界化ネットワーク (NET-GTAS)  
代表 長谷邦彦さん

### ■ 審議番組

「被爆者の証言を世界に！」

(毎月第 1, 3 月曜日 18 時から放送の 30 分番組)

多国籍の市民ボランティアが多言語に翻訳した「被爆者の証言ビデオ」について  
世界に発信する番組

2016 年 11 月 7 日第 3 回放送の番組を聞いて審議に入った。

### ■ 番組審議

冒頭、番組オーナー長谷邦彦さんから番組趣旨の説明があった。

広島・長崎の原爆被爆者の体験証言を多言語に翻訳し、世界に広げるのが目的。

これまで 13 人の被爆者証言ビデオを 10 言語に翻訳。56 本のビデオ字幕を作成。

番組では日本語の音声部分を放送している。(長谷)

- ・ NET-GTAS のプロジェクト自体が意義深い。
- ・ アナウンサーは学生なのか？若者に変化が起きている為、世代間の伝達が必要な時代。若者の感想をもっと聞きたい。
- ・ 番組で言いたいことは原稿にしてシナリオを作っている。(長谷)
- ・ 母が原爆投下時、長崎にいた。番組をラジオでぜひ聞いてみたい。
- ・ 内容は素晴らしいが、もう少し自然なトークがほしい。生き生きしたトークの为一工夫が必要。
- ・ 学生のこだわりや苦勞を話してもらえると良いのではないか。
- ・ BGM のボリュームが中途半端ではないか。
- ・ 映像を想像しながら聞くことができるラジオは良い。
- ・ イギリスではあらゆるものがアーカイブされている。つまり証言が尊重されている。すべてがアーカイブから始まる。
- ・ 日本語の証言の一部を外国語で表現したらインパクトが増すのではないか。
- ・ ネイティブのボランティアとのトークがあっても良い。
- ・ 番組ごとのキーワードを決めると印象に残るのではないか。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は 2017 年 2 月 5 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2017 年 2 月 5 日からホームページで公開した。